

かべしたじ
★壁下地



ゆか ひきどお ずみ きほん ずみ
★床の引通し墨 (基本レベル墨)



みずいと ぎ
水系でレベル決め

げんざい がいへきがわ ないへきがわ まばしら
現在は、外壁側や内壁側の間柱などを
さ
指します。

たてもの よすみ きじゆん ずみ き あと
建物の四隅の基準レベル墨を決めた後、
きほんずみ きじゆん みずいと
その基本墨を基準に水系、レベルで
かくへや ゆか ずみ き はしら きじゆん
各部屋の床レベル墨を決め、柱に基準
せん つ
線を付けることです。
ゆか ひきどお ゆか こうていさ
床の引通しとは床の高低差のことをい
ます。つまり、1部屋毎に高低を合わせて
へやごと こうてい あ
いたら高低がバラバラになってしまうこと
になります。

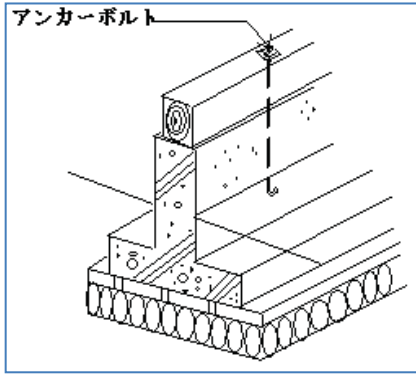
もくぞうけんちくぶつ こうぞうおよ ぞうさく
木造建築物の構造及び造作

どだい
★土台



じくぐみ さいかぶ たてもの かじゆう う
軸組の最下部にある建物の加重を受ける
おうかぶざい
横架部材のことで。

★アンカーボルト



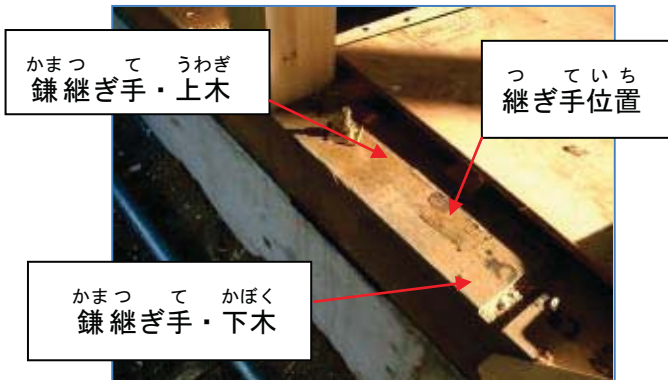
こうぞうぶざい もくざい こうざい せつびきき こてい
 構造部材（木材や鋼材）もしくは設備器機などを固定す
 るために、基礎コンクリート等に埋め込んで使用するボルト
 のことを指します。引っ張りや、せん断に抵抗すること
 によって、コンクリートに取り付けられた構造部材（木材
 や鋼材）もしくは設備器機が、分離、浮遊、移動、転倒す
 ることを防ぎます。



どだい つ て しょう
 ★土台の継ぎ手に使用するアンカーボルトは、土台の継ぎ手、上木部分の端部に近い位置に
 と つ
 取り付けます。

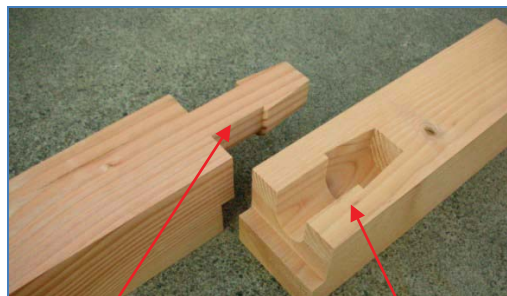
どだい つ て いち
 【土台の継ぎ手位置にあるアンカーボルト】

こしかけかまつ て どだい
 【腰掛鎌継ぎ手（土台）】



こしかけかまつ て
 【腰掛鎌継ぎ手】

かこう こしかけかまつ て
 【プレカット加工・腰掛鎌継ぎ手】

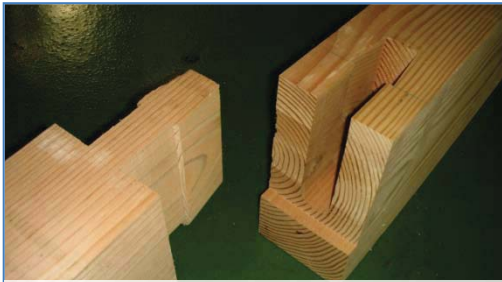


かまつ て おぎ
 鎌継ぎ手・男木

かまつ て めぎ
 鎌継ぎ手・女木



つて
★継ぎ手



こしかけかまつて かこう
腰掛鎌継ぎ手(プレカット加工)



こしかけかまつて
腰掛鎌継ぎ手(手きざみ)

かまつて しゆるい
鎌継ぎ手の種類:

こしかけかまつ こしい めちが つ りょうめちが こしかけ
腰掛鎌継ぎ、腰入れ目違い継ぎ、両目違い腰掛
かまつ
鎌継ぎ

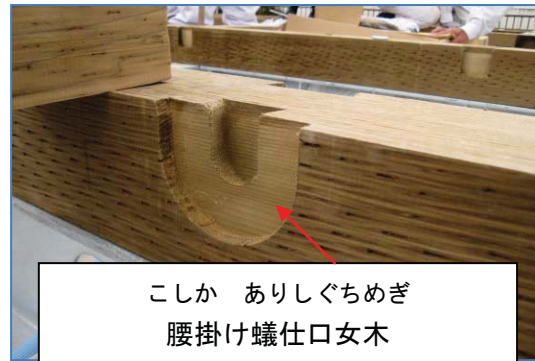
かま おぎ くび かまがた え
鎌とは、男木にけら首をもった鎌形の柄に

ざいどうし つて きほんけい
よって、材同士をつなぐ継ぎ手の基本形です。

しぐち
★仕口

ありしぐち しゆるい
蟻仕口の種類

ありつ おおい ありか おおい こしか ありしぐち どだい はり いっぱん ありつ て
蟻継ぎ、大入れ蟻掛け、大入れ腰掛け蟻仕口があります。土台、梁など一般には蟻継ぎ手は
けいじょうじょう ひ ば たい ありあな あ あり なが みじか か ぶぶん
形状上、引っ張りに対して蟻穴が開きやすく、蟻ホゾの長さが短いため、その掛かり部分
さ け やすく ひ ば りには よわ ありしぐち かなもの ほきょう いっぱんてき
が裂けやすく引っ張りには弱いので、蟻仕口は金物で補強をするのが一般的です。



とお ばしら
★通し柱

かい かい すいちよく つらぬ はしら とお ばしら たてもん すみ こうぞうじょう ようしょ
1階2階を垂直に貫いている柱が通し柱で、建物の4隅や構造上の要所に
もち おお かく かく
用います。大きさは120mm角・145mm角などがあります。



ようじょう
★養生

ようじょう こうじちゆう たてもん よご きんりん とりょう ひさん おお
養生とは、工事中に建物が汚れたり、近隣に塗料が飛散したりしないように覆いなど
か ほご けんせつちゆう たてもん ようじょう おお
を掛けて保護することです。建設中の建物などをカバーするように養生シートで覆いを
すで あ ぶぶん ごうはん ようじょう こうじちゆう ざいりょう うんぱんじ
かけたり、既にでき上がった部分を合板などで養生したり、工事中や材料の運搬時な
あやま ふせ ようじょう きんりん はいりよ
どに誤ってキズをつけるのを防ぎます。さらに、養生シートは近隣への配慮によるところ
おお こうじちゆう はっせい き とりょう ぼうし もくてき
も大きく、工事中に発生するホコリや木くず、塗料などによるトラブルを防止する目的も
あります。
はしら は ようじょうし た かたしゅうりょうご ざい ひや よご ぼうし のこ
柱に張った養生紙は、建て方終了後も、材の日焼け、汚れ防止のために残しておくほう
がよいです。

おおかべばしら
★大壁柱

おおかべばしら かべ なか かく み はしら い めいしょう おおかべばしら なが
大壁柱は壁の中に隠れて見えない柱のことを言います。名称は大壁柱、長さ3m
いっぱんてき しゅりゅう
が一般的には主流です。



だいこくばしら けしょう
★大黒柱（化粧）



だいこくばしら
 大黒柱

いえ ちゅうしん ふと はしら だいこくばしら
 家の中心にある太い柱を大黒柱といえます。

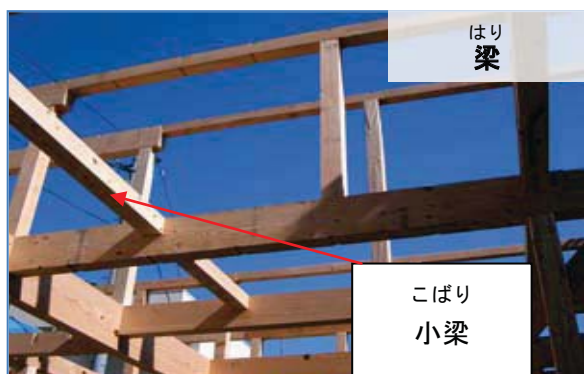
いえ かぎ
 すべての家にあるとは限りません。

しんかべばしら
★真壁柱



しんかべ けしょう ばしら いっぱんてき しんかべ
真壁（化粧）柱は、一般的には真壁
和室の壁より飛び出している柱のことを
い
言います。

はり
★梁



はり
 梁

こばり
 小梁

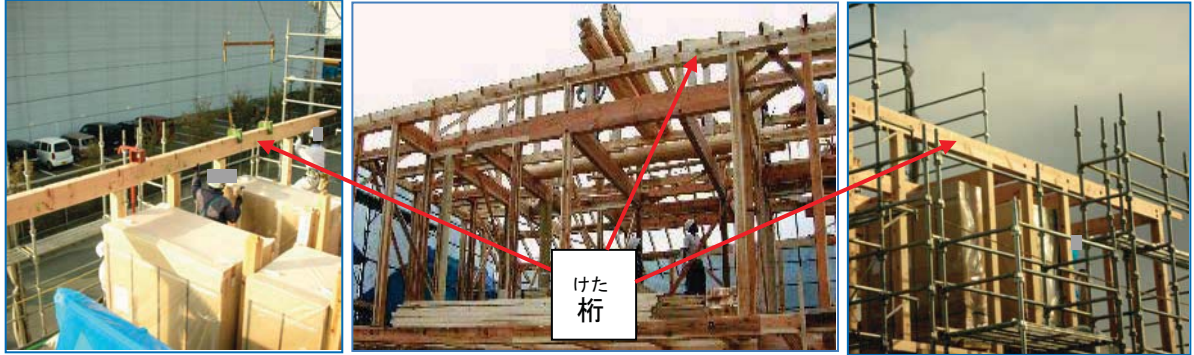
たてもん すいへいたんけいほうこう か ゆか
建物の水平短径方向に架けられ、床や
屋根などの荷重を柱に伝える材のこと
であり、主に曲げ応力を担います。

げんざい おうかざい ほうこう ばあい
現在では、横架材の方向をあらわす場合
には、建物の桁行きに直行する方向を、
はりけた よ くべつ
梁桁と呼んで区別をしています。



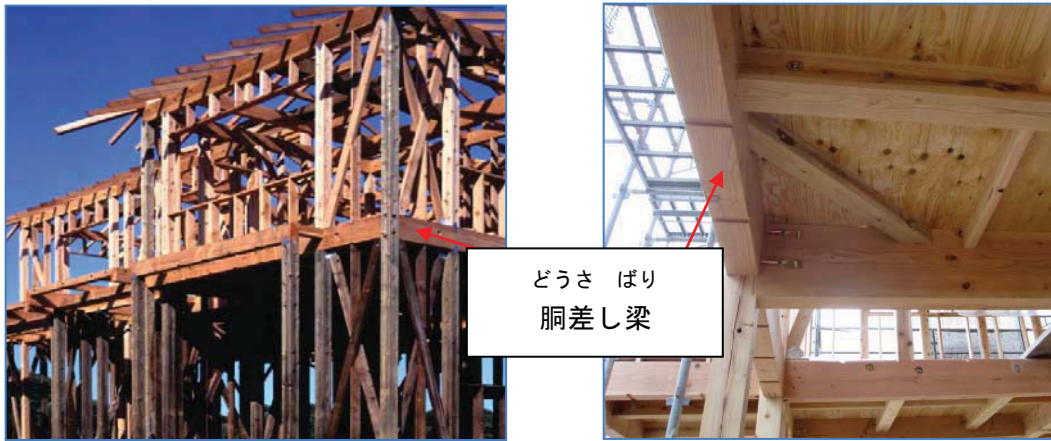
けた
★桁

たてもの ゆか やね かじゅう はしら つた ざい なか たるき う しゅよう おうかざい
建物の床や屋根などの荷重を柱に伝える材の中で垂木を受ける主要な横架材を
い おも ま おうりよく にな
言います。主に曲げ応力を担います。



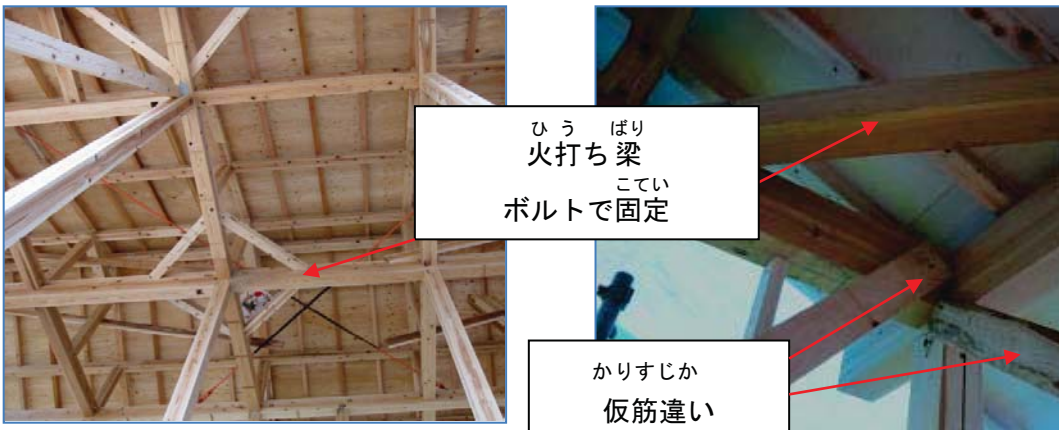
どうさ
★胴差し

かい かい とお ばしら とお ばしら こうぞうざい
2階（3階）において通し柱と通し柱をつなぐ構造材です。



ひう ばり
★火打ち梁

ひう ばり たてもの すいへいごうせい かくほ すみぶ と つ しやざい かい
火打ち梁とは建物の水平剛性を確保するために隅部に取り付ける斜材の事です。2階
ゆかめん こやばりめん ひう ばり い
床面や小屋梁面のものを火打ち梁と言います。



ひう かなもの
★火打ち金物

もくぞうけんぶつ すいへい ちよっこう ぶざい せつごうぶ こうさぶ こてい なな
木造建物で、水平に直交する部材の接合部、交差部がしっかりと固定されるよう、斜め
にかけわたされた補強材のことで、地震の時などに建物の角がゆがまないように、土台
めん ゆかめん はりめん かなら い ぶざい どだい まじ い
面、床面、梁面などに必ず入れる部材のひとつです。土台の交わるところに入れるものを
ひう どだい どうさ はり とつ ひう ばり げんざい
「火打ち土台」、胴差しや梁まわりに取り付けられるものを「火打ち梁」といいます。現在では
きんぞくせいひう ざい
金属製火打ち材もあります。

